

A-16 家事作業台の高さに関する実験的研究(第2報) 流しについて

奈良女子大学 北村 君

家事作業台の高さ(至適作業面高)を決める事は、主婦の労働能率上重要な事であるが、これは作業の種類・性質・使用器具並びに作業者の姿勢・身体寸法・作業習慣などの関係によって決定されるべきものである。

本研究は前報(アイロン台の高さ)に引続き至適作業面高に関する客観的資料を得るため流しに関して実験を試みたのである。流しにおける作業の種類は数多くあるが今回は特に作業上に支持点を持たない作業種類として茶碗洗いをとりあげた。方法は被験者に作業を行わせ時間の経過にしたがいその腰部の動きを前後左右上下の方向に別けて滑車を用い筆桿によってカイモグラフにカーヴとして移し取った。結果はそのカーヴを分析し、各種の高さによる被験者の動きの変化をグラフにまとめて説明する。